

大阪樟蔭女子大学の 教育活動について 2020

保護者の皆さまへ



大阪樟蔭女子大学
OSAKA SHOIN WOMEN'S UNIVERSITY

大阪樟蔭女子大学の教育理念

大阪樟蔭女子大学は建学の精神に基づいた教育を行ない、
次のような女性を育てます

- 自ら情報を収集・精査し、広い視野からものごとを判断し、
自らの道を切り拓く自律的な生き方ができる人。
- 堅実で心豊かな社会生活を営むことのできる「知恵」を
身につけた人。
- 職場・家庭・地域社会において人間関係の要となる人。

目次

A 修学支援の取組み……………	p1～4
B 学生生活支援の取組み……………	p5～7
C 就職支援の取組み……………	p8～9

A 修学支援の取組み

大阪樟蔭女子大学では、本学で学ぶ学生が4年間で着実に成長できるように、独自の教育プログラムを整えています。初年次教育では、4年間の学びの基礎力を身に付けた上で、専門教育で専門性を高めていきます。加えて、学んだことを社会で実践するプログラムを用意しています。学びと実践の繰り返しにより、幅広く、深い知識を習得し、思考力や応用力を培います。さらに、教室外での学修をサポートするしくみや環境を整えて、ひとりひとりの「学び」と「成長」を応援しています。

●正課の学びと教室外での学修サポート

■ 初年次のカリキュラム

学士課程基幹教育は、「読む」「聞く」「書く」「話す」を基本にして、大学での学びの土台作りと社会人としての基礎力の習得を目標としています。

専門教育は、各学科の専門教育の導入・基礎となる科目による学びがスタートしています。

- 「アカデミック・スキルズ」(必修) 「読む」「聞く」「書く」「話す」を基本に大学での“学びの技術”を身に付けます。
- 情報リテラシー科目(必修) 社会生活を送る、大学で学ぶ上で必要な情報リテラシーを身に付けます。
- 外国語科目(必修) 母語と異なる言語・言語文化を理解し、言語を活用するスキルを身に付けます。
- 「樟蔭の窓」芸術と鑑賞 自校教育や芸術教育により、学びの意味を知り、感性を磨きます。
- 主題別科目群 広い視野から物事をとらえる能力を養います。
- 学科専攻科目(専門科目) 学科での学びの導入・基礎となる科目が配置され、学科専門の基礎を固めます。

■ 免許・資格課程

諸資格課程の共通科目や学科専攻科目の履修により、資格・免許の取得や国家試験受験資格が得られる課程を用意しています。将来の志望に合わせて履修計画を立てていきます。課程によっては初年次より履修がスタートしています。

	学芸学部						児童教育学部	健康栄養学部	
	国文学科	国際英語学科	心理学科	ライフプランニング学科	ファッション学科 ファッション学科コース 化粧学科コース	美容コース	児童教育学科	健康栄養学科 管理栄養士専攻	食物栄養専攻
教職(中学教諭)	●	●		●	●		●		●
教職(高校教諭)	●	●		●	●				●
教職(栄養教諭)								●	●
教職(幼稚園教諭)							●		
教職(小学校教諭)							●		
司書	●	●	●	●	●	●	●	●	●
司書教諭	●	●		●	●		●		●
学校司書	●	●	●	●	●	●	●	●	●
社会教育主事	●	●	●	●	●	●	●	●	●
学芸員	●	●	●	●	●	●	●	●	●
日本語教員資格	●	●	●	●	●	●	●	●	●
保育士							●		
管理栄養士受験資格								●	
栄養士								●	
フードスペシャリスト									●
精神保健福祉士受験資格			●						
公認心理師受験資格			●						
スクールソーシャルワーカー			●						
社会調査士			●	●					
衣料管理士(1級・2級)					●				
美容師受験資格						●			

※4年間で全ての資格が取得できることを保証しているものではありません。

■ 教室外での学修を支えるしくみ

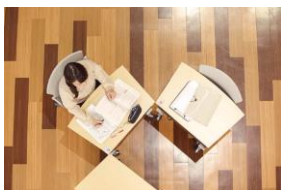
○ アドバイザー制度

アドバイザーとは、学生の相談相手、よき理解者となる教員のことです。入学後のオリエンテーションでそれぞれの学生のアドバイザーを紹介しています。本学では全学科の教員がアドバイザーとして対応しており、勉学や履修に関することや奨学金などの学生生活全般について助言・指導を行っています。

○ オフィスアワー制度

週に1度研究室を開放して、担当教員がさまざまな相談に応じる「オフィスアワー」を設けています。授業や研究、プライベートのことまで気軽に相談できる環境の中、お互いにコミュニケーションを図り、きめ細やかなアドバイスを受けることができます。

○ ラーニングcommons



大きな作業テーブルや可動式の机を備え、Wi-Fi 環境、貸し出しノート PC、自由に使えるレーザープリンターを用意しています。

授業の予習や復習、レポート作成やグループ発表の資料作りまで、教室外での学びが充実するよう環境を整えています。

○ 教職支援センター

教職支援センターは、本学学校教育に関する免許・資格課程を履修する学生の支援を行うことを目的に設立されました。教職支援センターでは、教職課程等履修者の支援、教育実習及び介護等体験に関する支援、教員採用試験受験者に対する指導及び各種対策講座の企画・実施、学校現場における教育インターンシップの企画・実施など様々なサポートを行います。

○ ライティングヘルプデスク

文章表現の基本「書く」ことに特化したサポートです。文章要約や表現の仕方などを担当教員が指導します。レポート作成など、書くことへの苦手意識の解消につなげます。清志館 2 階に設置していて、いつでもラーニングサポートで予約を受付けるほか、「レポート作成講座」など講習会も開催しています。

○ 学生の主体的なピア活動（ラーニングアシスタント、ノートテイク）

ラーニングアシスタント(LA)とは、授業「アカデミック・スキルズ」の中で、新入生の学びを先輩がサポートする活動です。一人ひとりが発言・発表しやすい雰囲気づくり、分からないことへの助言などを行います。ノートテイクは、聴覚に障がいをもつ学生の耳代わりになって、その学生が授業を受けることを支援する活動です。要約筆記とも言い、授業での先生の説明や学生の発言などの音声を文字にしていづ作業を行ないます。

●成長を実感させる実践プログラム

■ 国際交流プログラム(海外留学・留学生受入れ)

○海外研修プログラム

人、モノ、情報、そして新しいアイデアが国境を越えて移動する現代社会では、国際経験と感覚が豊かな人材がこれまで以上に求められています。いつの日か“世界”という舞台で自分が自分らしく輝ける場所を見つけ出せるように、大阪樟蔭女子大学では、さまざまな異文化に触れられる海外研修プログラムを用意しています。

種類	大学名・国(都市)	期間	留学時期	研修内容	参加対象
短期研修	オークランド大学 ニュージーランド(オークランド)	①約4週間 ②約6週間	2月中旬～ 3月下旬	①英語 ②英語＋幼稚園実習	①全学部 ②児童教育学科2・3年生
	アダム・ミツキェヴィチ大学 ポーランド(ポズナン)	約4週間	2月下旬～ 3月下旬	英語＋日本語教育実習	日本語教育課程の科目を一定数習得済みまたは履修中
	ブリティッシュ・コロンビア大学 カナダ(バンクーバー)	約4週間	①8月上旬～ 8月下旬 ②3月上旬～ 3月下旬	英語	全学部
	ポートランド州立大学 アメリカ(ポートランド)	約3週間	8月上旬～ 8月下旬	英語＋フードスタディ	全学部
	ロイヤルメルボルン工科大学ベトナム校 ベトナム(ホーチミン)	約2週間	8月下旬～ 9月上旬	英語	全学部
	ホーチミン市外国語情報技術大学 ベトナム(ホーチミン)	約1週間	3月上旬～ 3月中旬	異文化研修	全学部
中・長期研修	オークランド大学 中期研修 ニュージーランド(オークランド)	①約14週間 ②約14週間	9月下旬～ 12月中旬	①英語 ②英語＋幼稚園実習	①全学部 ②児童教育学科2・3年生
	カリフォルニア州立大学フレズノ校 中期研修 アメリカ(フレズノ)	①約16週間 ②約16週間	8月中旬～ 12月中旬	①英語＋学部専門授業聴講 ②英語＋日本語教育実習	①全学部 ②日本語教育課程の科目を一定数習得済み又は履修中
	カリフォルニア州立大学フレズノ校 長期研修 アメリカ(フレズノ)	約10ヶ月	3月上旬～ 12月下旬	英語＋学部授業	全学部 3・4年生(留学時の学年)

○留学生受入れプログラム

日本語・日本文化研修留学生・・・日本語・日本文化を学ぼうとする海外からの留学生のための本学独自のプログラムで、日本政府(文部科学省)奨学金留学生制度の選考をパスした留学生を2012年、2013年、2014年、2017年と受入れています。

留学生短期受入れ・・・本学学生の派遣先である、カリフォルニア州立大学フレズノ校の学生を受け入れています。本学学生とも積極的に交流しています。

●夢を実現するための学修サポート

免許・資格課程で学んだ成果を、採用試験や国家試験の合格という形で実現してもらうために、オリジナルの各種対策講座を開講しています。また、学外資格試験の対策講座を、外部資格学校の協力を得て学内で開講しています。

■ 教員採用試験・国家試験等合格のための対策講座

教採支援プログラム／教職支援センター ・教員採用試験対策講座 ・教員採用試験指導(1次試験対策) 面接試験対策指導／論作文指導 ・教員採用試験指導(2次・3次試験対策) 面接・集団討論・模擬授業・ロールプレイ指導 ・教職サロン／ランチセミナー	教職課程	東京アカデミーによる出張講座 教職アドバイザー及び本学教員による指導 教職アドバイザー及び本学教員による指導 教職アドバイザーによる指導
精神保健福祉士国家試験対策講座	心理学科	本学教員、学外講師による指導
食生活アドバイザー検定試験対策講座	全学部	本学教員による指導

■ 学外資格試験対策講座

Microsoft Office Specialist(MOS)講座	日商簿記3級講座	秘書検定講座(2級)
色彩検定講座(2級、3級)	メンタルヘルス・マネジメントⅢ種講座	TOEIC 対策講座
実用英語検定対策講座	旅程管理主任者研修(添乗員)講座	

B 学生生活支援の取組み

4 年間の学生生活を安全に、安心して送っていただけるよう、学生生活のさまざまな場面での支援を行っています。

●学生生活支援のための部局・施設

■ キャンパスライフサポート

- 課外活動の支援…クラブ・サークル活動や学園祭実行委員会活動など、学生の課外活動における支援を行っています。学生が主体的に行なう課外活動は全てが学生の学びと成長につながるという思いのもと、学生の主体性を大切にしながら、クラブ・サークルの開設から、平常の活動、活動費用、リーダー育成など、各種の支援ならびに環境整備を行っています。なお、クラブ・サークルへの活動費用の支援は後援会のご援助をいただいております。
- 自転車通学安全講習会…自転車通学を希望する学生を対象に自転車通学安全講習会を開催しています。講習会では、地元警察署交通課の協力を得て自転車の交通ルールやマナーについて理解を深めています。
- 下宿相談…協力業者に委託して下宿・マンションの紹介を行っています。「大学推薦(指定)物件」、「一般物件」など、さまざまな物件の紹介を受けることができます。紹介から契約の手続きまで、「株式会社学生情報センター」が丁寧に対応します。
- アルバイト紹介…より安全で良質なアルバイト求人情報を提供するために「大阪樟蔭女子大学アルバイト紹介システム」を導入しています。このシステムでは、学業と両立できることを条件に選んだアルバイトの情報を 365 日・24 時間どこでも閲覧できるようになっています。

■ 保健室

保健室では、体調不良やケガの応急処置はもちろん、全学生を対象に実施している定期健康診断、禁煙教育、感染症予防などの業務を行っています。専任の保健師 1 名・看護師 2 名が日々の相談に応じるほか、内科校医による健康相談日も設けており、健康上の不安や心身の不調、毎日の食事・栄養についても相談することができます。

■ 学生相談室

心身ともに健やかで充実した学生生活を送ることができるよう、常時 3 名の専門カウンセラーがさまざまな悩みや相談に個別で応じます。また保護者からの相談にも対応しているほか、精神科医による「心の健康相談」も開設しています。もちろん相談内容に関する秘密は厳守されますので、安心して利用できます。



●制度としくみ

■ 高等教育の修学支援新制度

文部科学省により、2020 年度からの国の「高等教育の修学支援新制度」の対象校となっています。この制度は、意欲と能力のある若者が経済的理由により進学や修学を断念することのないよう、授業料・入学金の減免と給付奨学金の支援を同時に受けられるものです。対象者の基準などの詳細は、文部科学省および日本学生支援機構のウェブサイトをご覧ください。

■ 奨学金制度

日本学生支援機構奨学金や民間・地方公共団体などの奨学金の窓口になるのはもちろん、申請に関する様々なことにサポートを行っています。本学の奨学金制度は学資の一部を給付(返済不要)して、修学を援助することを目的としており、以下のものがあります。

名称	対象者(出願条件)	給付額
緊急給付奨学金	著しく成績が不良でない者で、原則として本学在学中に、家計の急変により、学業継続の意志があるにも関わらず、就学が困難と認められる者。 学資納入者が死亡した場合。 学資納入者が失職した場合。(定年退職は除く) 学資納入者が火災・風水害にあった場合。	当該年度に納付すべき授業料・施設費の半額相当額
給付奨学金 (1～4 年生)	成績が不良でない者で、学業継続の意志があるにも関わらず、経済的事情により就学が困難と認められる者。	当該年度に納付すべき授業料の半額相当額
後援会奨学金 (1～4 年生)	学業継続の意志があるにも関わらず、経済的事情により就学が困難と認められる者。	300,000 円
教育ローン利子補給奨学金 (1～4 年生)	著しく成績が不良でない者で、オリコ学費サポートプランの教育ローンを利用している者。 家計支持者の年収基準あり。	当該年度に納付すべき授業料・施設費の半額相当額を上限とした教育ローンの利子分

■ 学生表彰制度

学業や各種活動において優秀な成績を修めた学生や、他の学生の模範となる学生を入学式・学位授与式などの公的な場で表彰します。学生の学業や各種活動へのモチベーションを高めるために設けられた制度です。

森平蔵賞・・・卒業年次の学生に贈られる学園創設者森平蔵氏の名を冠した賞。在学中の学業成績が評価されます。(2019年度 10名)

学業奨励賞・・・当該年度中の学業成績が評価され、次年度以降もたゆまず学業研鑽に励んでもらえるよう期待を込めて贈られる賞です。(2019年度 67名)

学長賞・・・スポーツや音楽などの課外活動や社会活動、その他において優秀な実績を収めた個人もしくは団体に贈られます。(2019年度 3名 5団体)

■ 学内学修支援体制

本学では、教員、事務局が一体となり、疾病や障害などによって学修に困難を抱える学生ひとりひとりのニーズを理解し、支援する体制づくりを行っています。教員によるアドバイザー制度を整え、学修上の困難の有無に関わらず、学生がそれぞれの課題に取り組みながら充実した学生生活を送ることのできる支援を目指しています。

C 就職支援の取組み

大阪樟蔭女子大学キャリアセンターでは、自らのキャリア形成に向けて能動的・自主的かつ肯定的に取り組めるように、初年次から「キャリアサポートプログラム」が始まります。社会で必要な力を無理なく段階的に身に付けられるようなプログラムになっています。

●キャリア科目

- 1年生:「**アカデミックスキルズ**」…大学での“学びの技術”を身に付け、自主的に活動することを学びます。
- 1年生:「**キャリア設計**」…自分の過去・現在・未来を通してキャリアデザインを考える視点を持ち、それに基づく自己理解(価値観・興味・特性など)の促進と、キャリアインタビューから「働くこと」について考え、自分の将来について主体的に取り組む力を養います。
- 2年生:「**キャリア開発**」…現代社会における女性の労働環境を理解し、ロールモデルの講演などを通して女性のライフイベントと関連付けたキャリアデザインについて学び、自分のキャリアについて主体的に考え、未来に向けたキャリアプランの作成を行います。
- 3年生:「**キャリア研究**」…「キャリア設計」「キャリア開発」での学びを基礎として、様々な業界、企業研究の手法を実践し情報収集を行い、その活用法について学習します。また、グループワークから社会で働く上で必要とされる基礎力や就職活動で求められるスキルを養います。社会への理解を深め企業について知るようになります。

「キャリア科目」においては、全て少人数・グループワークを中心に展開しており、コミュニケーション力、論理的思考力など、自己理解と知識・スキルを活用し社会で活躍するために必要とされる能力を身に付けることを通じて、自己効力感を高め、なりたい自分になるために何が必要か課題を考え、行動を計画する力(課題設定能力)や解決していく力(課題解決能力)を養っていきます。

また、授業では社会人基礎力(職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力)の12の能力要素を自己評価し、能力の成長度合いを確認しています。

●インターンシップ

正課授業として、インターンシップには、「就業体験型」・「学生提案型」の2種類のプログラムを設け、単位認定しており、2年生から履修することができます。

- 「**就業体験型インターンシップ**」では、企業・行政機関・NPO等実社会での2週間程度の就業体験と事前・事後スクーリングとして、グループワーク、レポート作成、プレゼン発表などを行います。就業体験を通じて、自己の職業適性や将来設計について主体的に考えることができるだけでなく、職場や地域社会で必要とされる社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)を実践することができます。
- 「**学生提案型インターンシップ**」では、企業の掲げる課題について、学生が消費者としての視点を活かした具体的な提案を行いながら、企業活動の本質やマーケティング、商品企画、チームワークの重要性などを学びます。仕事を進める上で基本となる「PDCAサイクル」を実践するだけでなく、自らのキャリア選択に能動的・自主的・肯定的に取り組むキャリアを選択・決定できる内容になっています。

これら「インターンシップ科目」では、実習以外に事前・事後学習や調査・分析等を実施し、プレゼンテーションする機会を多く設けており、毎年 12 月上旬には報告会を開催し、参加した学生のみならず、企業の方や「キャリア科目」の受講者、1 年生等へ出席を積極的に進め、低学年からの職業意識形成に努めております。

ここでも、社会人基礎力の 12 の能力要素を自己評価し、能力の成長度合いを確認しています。その結果、4 年生の就職活動においては、インターンシップに参加した学生は参加していない学生より早期に自らが望む就職先に決定しています。

●就職支援

本学の就職支援は、上記の「キャリアサポートプログラム」のとおり 1 年生から開始しておりますが、3 年生の春期からはより具体的に社会人になること、採用選考も意識して就職ガイダンスを軸に、業界セミナー、ビジネスマナー講座、人事担当者講演会、内定者報告会、OG 懇談会等、様々な就職支援プログラムを実施しています。

就職ガイダンスでは、就職活動のスケジュールや自己分析、企業研究の仕方、エントリーシートの書き方等、開催時期に応じた内容で実施し学生が個々に就職活動を進めていけるようにしています。さらには、学内に企業の人事担当者お招きし、合同企業セミナー・単独企業説明会を開催し、学生が企業の方と接触できる機会を増やしています。

また、就職希望者全員に対しキャリアカウンセラーによる個人面談を実施し、学生の就職活動の開始から就職決定の最後までを責任を持って支援しています。本学独自の求人情報検索システム「Shoin しごとナビ」も 3 年生から利用しており、大学に届いている求人情報の掲載だけではなく、就職試験や OG の情報、学校推薦の情報、学外での会社説明会の情報も閲覧できます。

キャリアセンターでは学生が、進路を主体的に決定するために必要な能力と社会人として必要なスキルを身につけさせるようなプログラムを企て、就職を希望する学生一人ひとりの進路決定の実現を確実にする支援をしています。毎年、就職決定率は上昇しており、2020 年 3 月の卒業生の就職決定率は、98.2%となっています。

●本学の特徴ある支援

○学科担当制

職員一人ひとりが担当学科を受け持ち、担当学科の学生が卒業するまで責任を持ってサポートします。

○就職適性検査

3 年生を対象に、就職適性検査を無料で実施しています。自分の強みや価値観を診断し、結果を参考にしながら、自己PRや就職活動に必要な履歴書作成に活かしています。(費用は大学後援会負担)

○遠距離交通費補助

就職活動中、採用試験などで遠くの地域へ行く場合、大学が交通費(学割)の半額を補助します。対象となるのは、企業からの要請で採用試験等に参加する必要のある学生で、100 km 以上遠の場合。交通費の負担が軽減し、就職活動する学生にとって心強いサポートになっています。(費用は大学後援会負担)